



事故のない有意義な夏休みを！

17日(金)の終業式をもって、第1学期が終了となります。保護者の皆様には、PTA活動や教育活動にご理解とご協力をいただき、大きな事故なく1学期を終了できますことに、心より感謝申し上げます。

生徒たちにとっては、待ちに待った38日間の夏休みを迎えることとなります。通知表も配付されます。1学期の学習や生活についての反省を行い、2学期に備えてほしいと思います。さらには、一人一人が自律した生活を送り、事故のない有意義な夏休みとなるよう願っています

授業参観・学年懇談会を実施！

3日(金)の午後に授業参観・学年懇談会を実施しました。大変お忙しい中、多数の保護者の皆様にご出席いただき、心より感謝申し上げます。

なお、再度懇談会要項に目を通していただき、家庭で生活する時間が多くなる夏休みの過ごし方についてご確認いただき、ご協力の程よろしくお願いたします。



小中一貫教育研修会を開催！

6月30日(火)の午後2時から、二中学区小中一貫教育全体研修会を開催しました。今回は、須賀川二小(学力向上)、阿武隈小(生徒指導)、柏城小(健康教育)の3校に分かれて、授業参観と協議会を行いました。2回目は、11月19日に二中を会場に開催する予定です。

須賀川市では、小中一貫教育を進めており、中学校区の実態に応じた取り組みを行っています。二中学区では、施設一体型・併設型・連携型のうち、連携型で進めていくこととなります。



《二中学生の活躍》

福島県たなばた展
学校賞 受賞
奨励賞 齊藤 なお(1年)
福島県地域安全標語
中学生の部 優秀 須藤 祥太(3年)
佳作 樽川 正伸(3年)
県南吹奏楽コンクール 金賞(出場)

喫煙防止教室を実施！ 1学年

6月29日(月)の5校時に、1年生を対象とした喫煙防止教室を実施しました。須賀川市の事業として実施され、今回で36回目となりました。講師には、坪井病院副院長の安藤真弘先生をお迎えし、タバコの害や喫煙と健康についての話をさせていただきました。

生徒からも多くの質問が出され、先生から答えていただきました。



思春期講座を実施！ 3学年

9日(木)の5校時に、3年生を対象とした思春期講座を実施しました。講師には、助産師の吉岡利恵様をお迎えし、「思春期のころとからだ」と題して講話をしていただきました。

思春期真っ只中にある3年生にとって、男女交際や性について、正しく理解することができる時間となりました。



県中体連壮行会を実施！

13日(月)の6校時に、県中体連総合大会に出場する部活動に対する壮行会を実施しました。

県中体連には、バスケット(男女)、ソフトテニス(男女)、体操、バドミントン(男子)の団体と個人、卓球女子個人が出場となります。

中学生芸術鑑賞教室が開催されました！

8日(水)の午後に、須賀川市文化センターにおいて、市内の中学校などの3年生860人を対象とした芸術鑑賞教室が開催されました。「音楽のおくりもの 歌の花たば」と題し、ヴァイオリンを中心としたアンサンブルの演奏と、ソプラノ歌手の透き通った歌声を堪能することができました。

プログラムも、有名なクラシック音楽の曲や親しみやすい最近の曲の演奏もあり、時間の経つのを忘れてしまいました。

町別懇談会を開催！

6月26日(金)の午後7時から、PTA補導部会主催の町別懇談会を開催しました。100名を超える保護者の皆様と町内会長さんや区長さん、民生委員の皆さんにご出席をいただき、6部会に分かれて話し合いをしました。危険箇所の確認のほか、次のようなご意見が出されました。



《二中生の現状》

あいさつができています。みんな大きな声であいさつしてくれる。このままよい伝統として根付かせてほしい。

以前のような悪い話は聞かれず、落ち着いているように見られる。

服装の乱れ、髪を染めている子も見られずよい。

4, 5年前に比べて、現在の二中は最高によい。部活動が楽しいと言って、夢中になってやっている。親としてもうれしい。

中学1年生の孫が、大人になったと感じる。

未来大橋のコンビニの利用状況がよくない。

自転車の乗り方が悪い。(特に歩道の走り方)

道路を3~4列になって歩いて、車が来てもよけようとしなない。

《その他の意見》

- ・放課後の完全下校時刻(18:45)を徹底してほしい。
- ・学級数が増えている中、学区外からの生徒の受け入れに制限もしくは対策はあるのか心配である。
- ・今後、LINEでのトラブルが心配である。
- ・携帯電話やスマートフォンは、家庭でルールを決め、保護者の責任でフィルタリングを設定してほしい。
- ・あお町の自転車通学について、見直しが必要。
- ・グラウンドや駐車場の確保について
- ・道路脇に紙マスクやコンビニのゴミが落ちていて、ゴミを散らかさない等の公衆道徳を守らせてほしい。
- ・歩道や道路に缶やたばこの吸い殻が落ちていて、子どもばかりでなく大人もマナーを考えてほしい。
- ・町別懇談会は、各地区ごとに行った方が、多くの保護者の意見が聞けるのではないだろうか。

きゅうり天王祭補導を実施します！

14日(火)の午後8時から、PTA補導部会による「きゅうり天王祭」の補導を実施します。補導部会、PTA・体文の役員の皆様には、お世話になります。

きゅうり天王祭は、毎年7月14日に開催されます。須賀川特産のきゅうりを2本供え、お護符がわりにきゅうり1本を持ち帰り、それを食べると1年間病気にかからないと言われていました。

学校評議員会を開催！

1日(水)の午後6時から、第1回学校評議員会を開催しました。今年度の学校評議員をお願いした5名の方々に委嘱状を交付した後、話し合いを行いました。

話し合いの中では、二中生の様子や生徒数の増加、自転車通学についてなどが出されました。出された意見や要望等につきましては、今後の教育活動に役立てていきたいと思えます。

今年一年間、お世話になります。



こころの窓

「敗れた時のコメントこそ、チームの品格と将来の可能性が出てくる」これは、女子サッカーワールドカップで日本に敗れたイングランド監督のコメントに対する称賛の言葉です。試合などで負けると、自分の実力はさておき、審判が悪いとか相手が悪いとか、原因を他に置き換えてしまうことがよくあります。試合に限らず、普段の生活の中でもこのようなことがあります。自分自身の成長のために何が大切なのかを考えることが、人としての生き方としては望ましいものです。

機関誌「PHP」から的一篇を紹介いたします。

わが身につながる

何でもかんでも、悪いことはすべて他人のせいにしてしまつたら、これほど気楽なことはいないだろう。すべて責任は相手にあり、都合の悪いことは知らぬ存ぜぬである。

だがしかし、みんながみんなこんな態度で、責任の押しつけ合いをしていたならば、この世の中、果たしてどうなることか。

理屈はどうにでもたてられる。責任を逃れる理屈は無数にあろう。また法律上は、無関係、責任なしということもあり得ることである。しかし、これは理屈や法律だけのこと。人と人とが相寄り暮らしているこの世の中、どんなことに対しても、自分は全く無関係、自分は全く無責任・・・そんなことはあり得ない。一見何の関係もなさそうなことでも、まわりまわってわが身につながる。つながる限り、それぞれに深い反省と強い責任感が生まれなければならないであろう。

すべてを他人のせいにしてしまいたいのは、人情の常ではあろうけれども、それは実に勇気なき姿である。心弱き姿である。そんな人々ばかりの社会には、自他ともに真の繁栄も真の平和も生まれえない。お互いに一人前の社会人として、責任を知る深い反省心と大きな勇気を持ちたい。